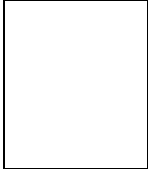


▽ シンプソン、ピーター 准教授 SIMPSON, Peter



学 科： 英米言語文化学科

担当科目： Special Oral Topics, イギリスの社会と文化、英作文Ⅱ  
基礎演習、専門演習

写真

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

<p>① 英国サリー大学 英文学・歴史専攻 卒業 英国ウエールズ大学 教員養成課程 卒業 英国ロンドン大学教育学部 英語教授法(TESOL)修士課程修了</p> <p>② 修士</p> <p>③ 日本英語協会(JACET) 沖縄外国語文学会 日本黒人研究の会(JBSA)</p> <p>④ <a href="#">普天間-辺野古アクションネットワーク</a> 代表 カリフォルニア大学・沖縄国際大学の学生による共同制作 DVD「OKINAWA」のアドバイザー <a href="http://www.washingtonpost.com/wp-srv/special/world/okinawa">http://www.washingtonpost.com/wp-srv/special/world/okinawa</a> <a href="#">「第5回占領下における対話」国際学会の実行委員会議長</a></p>
--

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
<p>1. 教育活動・方法の実践例</p> <p>1) 英語圏社会文化特殊講義</p>	2011年4月～8月	英語を第一言語としない国々で、英語が果たす社会的機能について、またギリスやアメリカのような帝国主義の国々が言語を通して諸外国にどのような社会的影響を与えたかを考える機会を与えることを講義の中心とした。(週2回4単位)
<p>2) イギリスの社会と文化</p>	2011年4月～8月	イギリスの現代社会における諸問題を討論し、またイギリスの社会と諸外国との関係を検討する。受講生はリストよりグループ単位でテーマを決め、発表した。(週2回4単位)

<p>3) オーラルコミュニケーション 1</p>	<p>2011年4月～8月</p>	<p>受講生が英語でプレゼンテーションをする時に、ストレスを感じずに自分達の考えを発表できるような方法を利用して講義を進めた。例えばペアワーク、グループ発表など。 受講生はかなりリラックスした気持ちで自由に楽しく発表ができた。 (週2回2単位)</p>
<p>4) オーラルコミュニケーションII</p> <p>5) English Writing II</p> <p>6) 卒業論文</p> <p>7) UNEP(国連環境プログラム)</p> <p>8) バークレー大学(米国)による沖縄関係ビデオ作成</p> <p>9) DUO(占領下における対話第5回会議)</p> <p><b>2. 作成した教科書、教材</b></p> <p>1) 英文雑誌 "SIMPSON"</p> <p>2) 英文絵本 "A Letter from Okinawa"</p> <p>3) web 作成</p>	<p>2011年～</p> <p>2010年～2011年</p> <p>2009年11月</p> <p>2010年4月～5月</p> <p>2011年4月～8月</p> <p>2002年～2011年</p> <p>2008年6月</p> <p>2011年～現在</p>	<p>オーラルコミュニケーション1と同じ (週2回2単位)</p> <p>受講生が英語を媒体として、自分の意見や考えを英作文にして表現できるような指導を行った。 (週2回4単位)</p> <p>学生各自の卒論テーマに沿った内容 文法・語法・構成の指導に当たった。 (週1回2単位)</p> <p>学生ボランティアを募集し、世話係として作業等の指導に当たった。</p> <p>バークレー大学の大学院生達(ジャーナリズム専攻)による沖縄取材に関し、学生ボランティアの募集や、また取材に協力した。</p> <p>本学・沖縄キリスト教学院大学主催で、国際会議を主催しその責任者の一人として会議全体を計画・実施</p> <p>英米専攻学生による英文雑誌作成に関する校正及び編集・発行。</p> <p>渡嘉敷島集団自決に関する内容の英語版絵本出版</p> <p>学生が利用できるweb作成 (自由英作文など)</p>

<p><b>3. 学生支援活動</b></p> <p>1) オープンキャンパス</p> <p>2) 英語合宿</p> <p>3) 学内スピーチコンテスト</p> <p>4) 補導委員会</p>	<p>2003年～2011年</p> <p>2003年～2010年</p> <p>2003年～2011年</p> <p>2011年4月</p>	<p>高校生向けの授業実施。</p> <p>東村のセミナーハウスにて 宿泊研修実施</p> <p>コンテストの審査委員</p> <p>学生への福利厚生</p>
<p><b>4. 学外での教育活動</b></p> <p>1) 平和教育</p> <p>2) 外国からの大学院生・ ジャーナリストへのガイダンス</p> <p>3) スピーチコンテスト</p> <p>4) ストーリーコンテスト</p>	<p>2008年～2011年</p> <p>2003年～2010年</p> <p>2003年～2010年</p> <p>2003年～2011年</p>	<p>他府県からの修学旅行高校生や教員への平和に関する講義</p> <p>沖縄関係の諸問題を研究・取材する 訪問者への指導・アドバイス等</p> <p>県内高校生英語スピーチコンテスト の審査委員</p> <p>県内中学生英語ストーリーコンテストの審査委員</p>
<p><b>5. 学会</b></p> <p>1) AILA</p> <p>2) Japan Black Studies Association 2010</p> <p>4) The “9/11” Decade: Rethinking Reality</p>	<p>2008年8月</p> <p>2010年6月</p> <p>2011年9月</p>	<p>ドイツ・エッセン大学にて発表 “Dependence and Diversity : Ecology Development and Language situation in Okinawa”</p> <p>本大学において学会パネリストとして参加 “Africa and Okinawa”</p> <p>イギリス・ブライトン大学において 研究発表 “9/11 and the Okinawan Protection Racket”</p>

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

1. 「言語学分野と批判談話分析」	2005 年3月	沖縄国際大学外国語研究
2. 「啓蒙主義から福音主義へ」	2005 年3月	沖縄国際大学外国語研究
3. 「普天間基地はなぜ危険なのか」	2005 年5月	学内誌:「沖国大がアメリカに占領された日」
4. 「拒否権と談話分析」	2006 年1月	沖縄国際大学外国語研究
5. 「混乱を招く比喩的表現」	2006 年3月	沖縄国際大学外国語研究

## 研究分野

Sociolinguistics, Cultural Studies, Language and Politics, Colonial and Post-colonial Studies  
The Language and Politics of Occupation, Language Loss and Revitalization

### 【Eメール・ホームページ等】

[peter@okiu.ac.jp](mailto:peter@okiu.ac.jp)

平成 23 年 12 月 2 日現在